広報おおいしだ 2021/3 No.777

こえのするまち

広報 おーいしだ

大石田町

2021 3月 No.777

令和3年度施政要旨と予算／P2～7
新型コロナワクチン接種／P8～9

■表紙写真／大石田中学校卒業証書授与式（3月16日）

◇編集・発行　大石田町総務課
〒999-4112　山形県北村山郡大石田町緑町1番地
☎0237-35-2111　FAX 0237-35-2118
◇印刷　㈲印刷　文化堂

別冊 おおいしだものがたり
～資料館資料編～

資料館で開催中の雛人形展の中から、今回は享保雛の衣装について考えてみたいと思います。

享保雛（男雛）の装束は多くの場合、束帯風であると紹介されます。この束帯とは、平安貴族の正装で、公家文化を端的に示す衣装ともいえます。ただしあくまで束帯「風」であり、公家の衣装に似せてはいても有職（宮中にまつわる伝統的な儀式や文化）とはいえません。享保雛の男雛に特徴的な、前掛け状のもの（図１）は、実際の束帯には表れない形です。この首下から前身頃全体を覆い、さらに帯の下まで垂れ下がるような様式は、どのように生れたのでしょうか。

図１　享保雛（男雛）

享保雛も含めて、現在も残る人形類を求めたのは、多くは裕福な商人たちでした。一部の武家や公家を除けば、有職から遠い人々でしょう。そんな人々が貴族の衣服を垣間見るのは、木版刷により庶民まで広がった百人一首カルタのようなものではなかったかと思われます。そこにあらわれる公家たちの装束は厚い布に糊を効かせた強装束（こわしょうぞく）と呼ばれるものです（図２）。この強装束は上半身の前身頃が強調され、あたかもそれ自体が独立した衣服であるかのような印象を受けます。

図２　強装束

次に、裲襠（りょうとう・うちかけ）という貫頭衣型の衣服があります。裲襠は武官の礼服で、舞楽衣装などでも見かけるものです（図３）。身体の正面を覆う錦織りで縁取りが施された裲襠は、一見享保雛の男雛の前掛け状のものと一致するように思われます。しかし人形の背面には裲襠状のものはあらわれず、また、古今雛には裲襠の要素が全く見られなくなるということからも、前掛け状のものが即ち裲襠であるとはいえないようです。

図３　舞楽、蘭陵王の裲襠

ただし前述の強装束とも共通しますが、寺社境内で披露される舞楽もまた、有職を知らない人々にとっては最も身近な装束の典拠となりえたのではないかとも考えられます。

以上のことをまとめると、享保雛にみられる前掛け状のものは、束帯の前身頃が絵画の強装束を三次元化する際に、裲襠を参考にしながら形式化したものと考えられます。町屋の解釈が多分に含まれているとはいえ、その根底にあったのは公家文化へのあこがれです。そしてこの意識は、人形の様式が変化しても色濃く受け継がれていくことになります。享保雛の次に流行した「古今雛」の名は王朝文化への強い憧憬から付けられており、纏う衣装もより有職に近づいたものへと発展していくのです。

大石田雛人形展は４月４日（日）まで

楽がき帳

大雪になった今年の冬ですが、ようやく落ち着きを見せ、雪でなく雨が降ることが多くなってきました。この時期は、日に日に雪解けが進み、冬から春への季節の移り変わりが感じられて、個人的に好きなのですが、杉などの花粉が本格的に飛ぶ時期でもあり、花粉症の私は少し憂鬱でもあります・・今年の春の花粉飛散量は、例年より少ないものの、昨年の春より多くなる見込みのようです。コロナ対策はもちろんですが、花粉症対策にもお気を付けください。（松）

山形県大石田町ホームページ
携帯・スマホからアクセスできます

※この人数は外国人も含めたものです。

町の人口	令和3年3月1日現在		
世帯数	2,306戸	（－6）	
総人口	6,690人	（－13）	
男	3,296人	（－3）	
女	3,394人	（－10）	
（2月中の異動）			
出生	2人	転入	8人
死亡	15人	転出	8人